

令和7年度 海田町立海田小学校

「感性を磨く」

「気付く子」「考える子」「行動する子」

評価項目		評価指標	評価規準			
			4	3	2	1
確かな学力	気付く子 【メタ認知】 振り返りを活用して価値ある物事に気付く児童に	○各単元末テスト平均点3～6学年85点以上, 1～2学年90点以上。	85点以上	75点以上 85点未満	65点以上 75点未満	65点未満
		○標準学力調査の平均正答率が全国平均8ポイント以上。	90点以上	80点以上 90点未満	70点以上 80点未満	70点未満
豊かな心	考える子 【コミュニケーション力】 対話と協働を通して自分や人を大切にすることができる児童に	○気持ちの良い挨拶ができる児童95%	85%以上	75%以上 85%未満	65%以上 75%未満	65%未満
		「挨拶日本一」への取組 西中学校区の挨拶目標 ・立ち止まって ・相手の目を見て ・自分から				
		○じぶんには良いところがあると思う児童90%以上	90%以上	75%以上 90%未満	65%以上 75%未満	65%未満
健やかな体	行動する子 【主体性】 体験活動を通して心と体が健康な児童に	○休憩時間に月20ポイント以上外遊びをする児童90%以上 (休憩時間に外遊びをすると1ポイント)	90%以上	60%以上 90%未満	50%以上 59%未満	50%未満
		○体カテストで体力項目の70%以上が前年度の県平均を上回る。	70%以上	60%以上 69%未満	50%以上 59%未満	50%未満
		○生活リズムカレンダーで自分が設定した就寝時刻の目標が達成できた割合70%以上	70%以上	60%以上 69%未満	50%以上 59%未満	50%未満
信頼される学校	可能性を信じ、学び続ける教職員 タイムマネジメントと教師力の向上	○時間外勤務45時間以内の職員の割合100%	100%	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満

評価項目		評価指標	具体的方策
確かな学力	気付く子【メタ認知】	○各単元末テスト平均点上学年85点以上、下学年90点以上。	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の徹底 ・振り返りを活用した指導の充実（一人1授業以上の提案：示範授業含） ・声に出す活動の充実（音読・朗読・歌唱：ドミノ発表会など） ・書く活動の充実（海小タイム、作品応募） ・個別最適な学びに向けた取組（2～4年での「コグトレタイム」の実施、「ドリルタイム」「タブレットドリル」の活用） ○対話を重視した問題解決的な道徳教育 ・海小つながりプログラムによるカリキュラム・マネジメントを生かした単元構想 ○読書活動の充実 ・教科等における読書活動、調べ学習（読書感想文・ポップづくり・ビブリアバトル等） ・学年に応じた読書の量と質の向上（30冊読書の取組・担任以外の読み聞かせ「ドキドキ読書」） ・図書委員会や子ども司書による多読の取組（ブックフェスなど） ○家庭学習の充実（復習・予習・自主学习）
	振り返りを活用して価値ある物事に気付く児童に	○標準学力調査の平均正答率が全国平均8ポイント以上。	
豊かな心	考える子【コミュニケーション力】	○気持ちの良い挨拶ができる児童95%	<ul style="list-style-type: none"> ○「挨拶日本一」への取組 ・各学級・心の元気委員会による校門での挨拶運動 ・挨拶の意義の確認・挨拶標語等での啓発・振り返り ・挨拶名人の選出と活躍 ○道徳的実践力を発揮させる特別活動 ・たてわり班活動の充実 ・委員会活動による互いのよさを認め合う活動 ・学級活動による集団決定と自己決定 ○特別支援教育の充実 ・適切な短期目標の設定 ・個の伸長の見取りと価値付け
	対話と協働を通して自分や人を大切にすることができる児童に	○じぶんには良いところがあると思う児童90%以上	
健やかな体	行動する子【主体性】	○休憩時間に月20ポイント以上外遊びをする児童90%以上（休憩時間に外遊びをすると1ポイント）	<ul style="list-style-type: none"> ○大休憩、学級タイム、ロング昼休憩における児童全員外遊び活動 ○運動委員会による運動に親しむ環境づくり（外遊びポイント・昼休憩鬼ごっこ・握力を付ける運動など） ○自己最高記録への挑戦（完走大会・縄跳び週間・体力アップ貯金カード）
	体験活動を通して心と体が健康な児童に	○体力テストで体力項目の70%以上が前年度の県平均を上回る。	
		○生活リズムカレンダーで自分が設定した就寝時刻の目標が達成できた割合70%以上	○学級活動や保健の授業、生活リズムカレンダーや児童朝会での保健委員会による睡眠時間の啓発等。
信頼される学校	可能性を信じ、学び続ける教職員 タイムマネジメントと教師力の向上	○時間外勤務45時間以内の職員の割合100%	<ul style="list-style-type: none"> ○企画運営委員会・分掌部会・学年主任会・学年会・SST・終会・つばやきファイル等による共有と行動目標の確認 ○終会時等におけるミニ研修の実施 ○学期末評価事務作業日の設定 ○全教職員による環境整備 ○定時退校日の実施（原則水曜日）